

壊れゆく“若者たち”

File.50 デジタル症候群 ～車や趣味よりも スマホを優先する若者

文 石井 通明 text by Michiaki Ishii

全国のミレニアル世代（2000年以降に成人を迎えた世代）はデートや車や趣味グッズといったモノの消費よりも、スマホを中心としたコトの消費を優先する傾向が強まっていることがわかりました。これは、ジュピターテレコム（J:COM）社が今年実施した「ミレニアル世代のテレビ視聴・スマホ利用実態に関する調査2018」による調査結果なのですが、この結果によると、「スマホvs車」では、実に88%がスマホを優先する結果となり、「スマホvsパートナーとのデート」ではスマホ利用優先派が53%、デート優先派が47%となり、スマホ利用優先派が僅かにデート優先派を上回るという驚異的な結果を示しています。

極端な言い方かもしれませんが、今の若い世代はデートよりもスマホなのです。

この結果から、リアルなリスクを嫌う、という傾向が見られます。物欲の減退と、リスクを面倒と思う傾向が、人から貪欲さを奪っているものだと判断できます。これは極めて危険な状況



Profile
東京都大田区生まれ。
英国ウエールズ大学 MBA（経営管理修士）
日本交渉学会会員。ハーバード流交渉学・消費者行動心理学・コンフリクトマネジメントを研究。日本コールセンター協会情報調査委員。
（株）グッドクロス取締役 COO
長年コールセンター運営に携わり、人と人のコミュニケーションについての研究を進めている。思いやりのコールセンターを展開。
becall1031642012088
[http://www.bcall.jp]

であり、「求めない」ということは、発展しようとする意識に結びつかないとも汲み取れます。

かつて、少なくとも自分たちが20歳くらいだった時には、今に比べたら日常の娯楽は少なかつたかもしれません。テレビは家に帰らないと見られませんでしたが、インターネットはまだ広まっていなかった。ヘッドホンで音楽に集中し、読書をして移動時間や待ち時間を過ごすような毎日でした。当時、決して不自由は感じていませんでしたが、貪欲さを多くの人が持っていたと感じます。そこには日々の中に満たされないものがあり、もつと良くなりたいたちと思っていたものがあつたからです。

満たされない時代を生きた人は貪欲

で、色々なものを求め、向上心に溢れています。この気持ちが発展につながってきたと言えます。今は満たされています。多くの人が与えられることに慣れてしまい、日々口を開けて待っているような状態です。このままこのような進化（退化）を続けたら、本当に人間はダメになってしまいます。改めて考え直す必要があるのではないのでしょうか。

